## ★一般投影

今夜の星の探し方から、その時々の天文現象、天文や宇宙の様々な話題等を、月替わりで取り上げます。一般の方むけに、学芸員が生で解説します。

2018
### 3月　『古代人の宇宙』～4/10

太古の昔から私たちの頭上にはいつも天があり、夜ともなれば無数の星が輝きます。古代の人々は、星々が天をめぐるようすを眺め、天に囲まれた自分たちの世界をさまざまに思い描いたのです。

---

### 4月　『南半球の星空』4/11～5/9

名古屋から見られない南半球の星空には、南十字星や、太陽系に最も近いケンタウルス座α星など、見どころがたくさんあります。プラネタリウムの機能を使って南の国へ旅してみましょう。

### 5月　『めぐる惑星たち』5/10～5/31

惑星たちは太陽の周りをそれぞれの軌道、それぞれの周期で回っています。そのため、見える時期は毎年違ってきます。今年は春から秋にかけて、金星、木星、土星、火星が次々と見頃を迎えます。

### 6月　『七夕物語』6/1～7/12

七夕のお話と星祭りの行事は古代中国で生まれ、奈良時代に日本に伝えられました。プラネタリウムの織姫、彦星を見上げながら、七夕の物語をお楽しみください。

### 7月・8月　『火星大接近』7/14～9/2

今年は15年ぶりの火星大接近が起こります。最も近づくのは7月31日ですが、見頃は秋まで続き、赤く明るい姿を長く楽しめます。プラネタリウムでその火星の動きや明るさの変化を再現します。

### 9月　『十五夜の月』9/8～9/30

今年の中秋の名月は9月24日ですが、満月は翌日の25日です。なぜ、お月見の日と満月の日が違うのでしょう？　お月見のとき、月がお盆のように大きく見えるのはなぜでしょう？

### 10月　『渦巻く銀河』10/2～10/31

宇宙には渦を巻いている銀河がたくさんあります。私たちの銀河系もその一つです。あの渦はぐるぐると巻きついてしまわないのでしょうか？　銀河の渦巻きの秘密にせまります。

### 11月　『宇宙の音・星の音』11/1～11/30

星々の並びや星の瞬きを音に変えてみたら、どんな音楽が聞こえてくるのでしょう？　星々の配置や宇宙のしくみを音に変えて楽しんでみましょう。

### 12月　『朝はどこからやってくる』12/1～1/8

太陽が真東から昇るのは、春分の日と秋分の日だけ。夏は北に、冬は南にかなりずれた方角から昇ります。朝はどこからやってくるのでしょう？　初日の出が早く見られるのはどこでしょう？

2019
### 1月　『高エネルギー天文学』1/9～1/31

宇宙線や、可視光線よりもずっと波長が短くてエネルギーの強いX線、ガンマ線などの観測によって、ガンマ線バーストや超新星爆発など、すさまじい天文現象の理解が進んでいます。

### 2月　『星は何色？』2/1～2/28

冬の夜空には一等星がたくさん輝いています。赤っぽい星、青っぽい星、黄色っぽい星はありますが、緑色の星は見かけません。星の色は、様々な波長の光が合わさって作り出されているのです。

### 3月　『太陽系の小天体』3/1～

太陽の周りは惑星だけでなく、小惑星や彗星などが数多く回っています。こういった小天体には、太陽系の初期の情報が残されています。小天体への探査の現状とその成果を紹介します。

## ★その他

その他に、幼児、小4、小6、中学生団体むけの学習投影、字幕付きプラネタリウムなど、様々な投影がございます。

詳しくは下記の名古屋市科学館ホームページをご覧ください。

http://www.ncsm.city.nagoya.jp/

## ★夜間投影（18:30～19:30）　― 申込制 ―

夜6時半からの大人限定の投影です。七夕やお月見など、その時々にちなんだ天文の話題を取り上げる場合と、同月の一般投影の内容を基本にする場合があります。各回のテーマをご確認の上、お申し込みください。

人数：350人
料金：700円
対象：高校生以上、大人限定です。中学生以下は乳幼児を含めて入場できません。
申込：往復はがきに、催し名、開催日（○月△日）、代表者の住所・氏名・電話番号、参加者全員の氏名・参加人数（5名まで）、返信あて名に代表者の住所・氏名を記入して、名古屋市科学館「○月△日の夜間投影」係までお申し込みください。応募者多数の場合は抽選です。

| 「夜間投影のテーマ」 開催日 | 受付開始日～ 申込締切日（必着） |
|---|---|
| 「めぐる惑星たち」 | |
| 5月 15日（火） | 4/1～ 4月24日（火） |
| 「宇宙からみた地球」 | |
| 6月 22日（金） | 5/1～ 5月31日（木） |
| 「七夕の夜」 | |
| 7月 7日（土） | 6/1～ 6月16日（土） |
| 「お月見の夜」 | |
| 9月 24日（月・振） | 8/1～ 8月31日（金） |
| 「宇宙のひろがり」 | |
| 10月 12日（金） | 9/1～ 9月21日（金） |
| 「宇宙の音・星の音」 | |
| 11月 9日（金） | 10/1～ 10月19日（金） |
| 「クリスマスの夜」 | |
| 12月 23日（日・祝） | 11/1～ 11月30日（金） |
| 12月 24日（月・振） | 11/1～ 11月30日（金） |
| 「高エネルギー天文学」 | |
| 1月 16日（水） | 12/1～ 12月22日（土） |
| 「オーロラの夜」 | |
| 2月 8日（金） | 1/4～ 1月18日（金） |
| 2月 9日（土） | 1/4～ 1月18日（金） |
| 「太陽系の小天体」 | |
| 3月 5日（火） | 2/1～ 2月12日（火） |